

平成29年12月28日

台湾鐵路平溪線との姉妹鉄道の協定締結について

～ 九州初 ～

平成筑豊鉄道株式会社では、沿線人口の減少に伴い、鉄道利用者が減少している状況を打開するため、国内外から観光客を誘致し、鉄道の活性化と地域振興につなげる取組の一環として、平成筑豊鉄道と同じ石炭運搬の歴史を有する台湾鐵路平溪線と姉妹鉄道の協定を締結することを決定（H29.12.27 取締役会）しました。

なお、締結式典の開催にあたっては、改めてお知らせいたします。

1 台湾鐵路平溪線の概要

○管理者：台湾鐵路管理局

○沿革等

台湾において屈指の炭田といわれた菁桐坑の開発のため、台陽鋳業が大正10年（1921年）に敷設した専用鉄道が前身で、現在は台湾の国有鉄道。

平溪線の十分駅には、平成筑豊鉄道沿線にある田川市石炭・歴史博物館と友好館の締結（H28.10）を行った新平溪煤礦博物館があり、古い街並みの十分老街や、線路の両側に天燈（ランタン）の店などが連なる日本でも有名な観光地。

○路線図

・営業キロ：12.9 km

・路線区間：7 駅

：三貂嶺（さんちょうれい）駅 ～ 菁桐（せいとう）駅



「台湾鐵路管理局提供」



「台湾鐵路管理局提供」

2 姉妹鉄道の協定締結に係る概要

相互送客に関する交流など。

※具体的な事業内容については、今後協議予定。